

「花ごはん」で楽しむ白馬 Alps 花三昧・2018

取組に至る背景・事業の目的

白馬村のグリーンシーズン観光は天候に左右されることが多く、いつでも白馬を楽しめる工夫が必要である。加えて、白馬に再度訪れてもらえる動機付けとなる取組が必要である。

当会は、白馬の次世代を担う女性の視点で、15年前から地域で開催する夏のイベント「白馬 Alps 花三昧」と連携して「花ごはん※」で来訪者をもてなすことを提案することで、夏の観光客誘致に取り組み、来訪者増加を目指すとともに、元気な地域づくりに貢献することを目的としている。また併せて、取組を通じた女性の能動的な社会参画の意識向上を図ることを目指している。

(※「花ごはん」とは、エディブルフラワー（食用花）を使った料理や花をモチーフにした器で食事を楽しむ取組)

事業内容

- ① 「花ごはん」を提供する事業者の拡大 参加 25 事業者
- ② 新たな食の提供に関わる知識や技能の拡大
 - ・料理講習会の実施 延べ参加者数 168 名
 - ・インスタグラム講習会の実施 参加 43 名
- ③ 首都圏向け「花ごはん」と白馬 Alps 花三昧イベントの周知
 - ・首都圏銀座 NAGANO イベントの実施 参加 40 名
- ④ 花バスツアー（観光局主催）の実施 参加 10 名
- ⑤ 他団体主催イベントでの花ごはん提供協力 4 回
- ⑥ 参加施設へのアンケート



【賑わった花ごはん講習会】

事業効果

- ・白馬 Alps 花三昧の来場者数 昨年度比 7% 増 (H29:162 千人⇒H30:173 千人。白馬村観光局調べ)
- ・「花ごはん」が認知され、白馬村内外のイベントの協力要請を受け、BMWモトラッドデイズや信州花フェスタ 2019 等に出展し好評を博した

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

エディブルフラワーの仕入れが難しい課題があるため、花ごはんの講習会を継続して花ごはん提供店舗をさらに増やすことに加え、花ごはんの材料となるエディブルフラワーの栽培講習会開催を通じて、花ごはんへの理解を深めるとともに地域内の生産体制を強化したい。

白馬 Alps 花三昧の参加事業者や村観光局と連携し、花を楽しむバスツアーをさらに充実させて村内周遊につなげ、夏季観光シーズンを盛り上げたい。

また、情報発信については SNS 等の活用をさらに強化するとともに、村外で白馬の PR につながるお土産品となるような花ごはんを開発したい。

加えて、花ごはんの取組を通じて得られた経験を基に、女性が生き生きと活躍できる場を増やしたい。

【選定のポイント】

グリーンシーズンにおける誘客の新たな取組として、エディブルフラワーを使った料理や花の形の食器で食事を楽しむ「花ごはん」を提案し、花ごはんを地域に広げるための料理講習会や、情報発信のための発表会等を実施。花ごはんが 25 店で提供開始となるなど、取組は地域を巻き込み拡大しており、白馬村における楽しみの柱の一つとなることが期待できる。

団体名	白馬 Women's Club (白馬村)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	会長 中村ゆかり	事業費	1,709,593円
		支援金額	1,350,000円

